

12	スポーツ振興局	総合的な競技力向上方策の推進
事業概要	<p>スポーツ祭東京2013における総合優勝とオリンピック等国际大会における東京都選手の一層の活躍を目指し、東京アスリートの競技力向上を図るため、「東京都競技力向上基本方針・実施計画」(平成20年3月策定)に基づき、選手強化体制の整備、指導者の確保・育成、医・科学サポートによる支援の3つの柱により、東京アスリートを総合的に支援する。</p> <p>なお、JOC等スポーツ関係の有識者、公益財団法人東京都体育協会や学校体育連盟等により構成される「東京都競技力向上推進本部」及びその下に設置した強化部会、指導者部会、医・科学部会を開催し、事業の進行状況確認や検証を行うとともに、次年度事業の計画について検討する。</p>	
これまでの経過	<p>1 東京都競技力向上推進本部 医科学部会の下部組織である医科学部会ワーキンググループを6月に開催し、平成24年度の事業進捗状況について報告し、課題を確認するとともに、平成25年度の事業計画に向けて助言をいただいた。</p> <p>2 選手強化体制の整備 (1)平成24年度東京都ジュニア強化選手として33競技1,068名を認定した。 (2)将来、国体で活躍が期待できる小中高生を対象に、競技団体が強化練習、強化合宿等を行うジュニア特別強化事業を実施している。 (3)ジュニアスポーツの普及とジュニア選手の育成を推進するため、地区の体育協会がスポーツ教室やスポーツ大会等を行う、ジュニア育成地域推進事業を実施している。 (4)競技団体が、即戦力となる国体候補選手に対して強化練習、強化合宿等を行う国体候補選手強化事業を実施した。 (5)東京都ジュニアアスリート発掘・育成事業の第3期生24名に対して、競技体験プログラムを実施の上、各自の実施競技を決定した。 また、第4期生の募集を行った(10月5日まで)。 (6)都内の有力高校における国体参加のモチベーションを高め、部活動の選手強化を支援していくため、東京都高等学校体育連盟等と調整の上、29競技において、平成24年度「東京アスリート育成推進校」102校を指定した。</p> <p>3 指導者の確保・育成 (1)平成24年度東京都国体選手強化指導員として国体40競技中、37競技398名を認定した。 (2)競技団体が実施する強化練習、強化合宿等に指導者を招聘する事業を実施している。</p>	

<p>これまでの経過</p>	<p>4 医・科学サポートによる支援  (1) 3大学と連携したスポーツ医・科学機能による測定や助言を行うスポーツ医・科学サポートモデル事業を今年度から開始し、対象10競技についてトレーニングサポートや栄養サポートなど総合的に実施している。  (2) 医師やトレーナー等の人材登録を進め、競技団体が行う強化活動へ派遣を開始している。  (3) ジュニア選手、指導者、保護者を対象にトレーニング法研修を実施した。</p>	
<p>現在の進行状況</p>	<p>平成24年度後期事業実施に向けて、準備作業を行っている。  (1) 東京都ジュニアアスリート発掘・育成事業(育成プログラム)の実施  (2) 東京都ジュニア育成地域推進事業の実施  (3) 東京都ジュニア強化選手の認定  (4) 東京都国体選手強化指導員の認定  (5) 大学と連携した医・科学サポート事業の実施 等</p>	
<p>今後の見通し</p>	<p>1 東京都競技力向上推進本部  競技団体からのヒアリングや第67回国民体育大会の結果をもとに、東京国体に向けての戦略強化を図る。  また、平成24年度の事業進捗状況や事業成果について各部会や本部会議で報告し、課題を確認するとともに、平成25年度の事業実施や26年度以降の事業方針・実勢計画策定に向けて準備を行っていく。</p> <p>2 選手強化体制の整備  東京都ジュニアアスリート発掘・育成事業を着実に推進するとともに、平成25年度の事業の実施に向けて、準備を進めていく。</p> <p>3 指導者の確保・育成  国体選手強化指導員の認定事業、人材バンクの登録・派遣事業を着実に進めていく。</p> <p>4 医・科学サポートによる支援  3大学(日本体育大学・日本女子体育大学及び国士舘大学)と連携した医・科学サポートモデル事業の種目別サポートに取り組み、25年度の事業の実施に向けて準備を行っていくとともに、医師等の強化活動への派遣事業、ドーピング防止研修等を着実に実施していく。</p>	
<p>問い合わせ先</p>	<p>スポーツ振興局 スポーツ事業部  事業推進課</p>	<p>電話 03-5320-7715</p>